肝疾患診療連携拠点病院の現状調査結果

平成21年度(平成22年5月に調査):55病院から回答

・平成22年度(平成23年7月に調査)

:66病院から回答

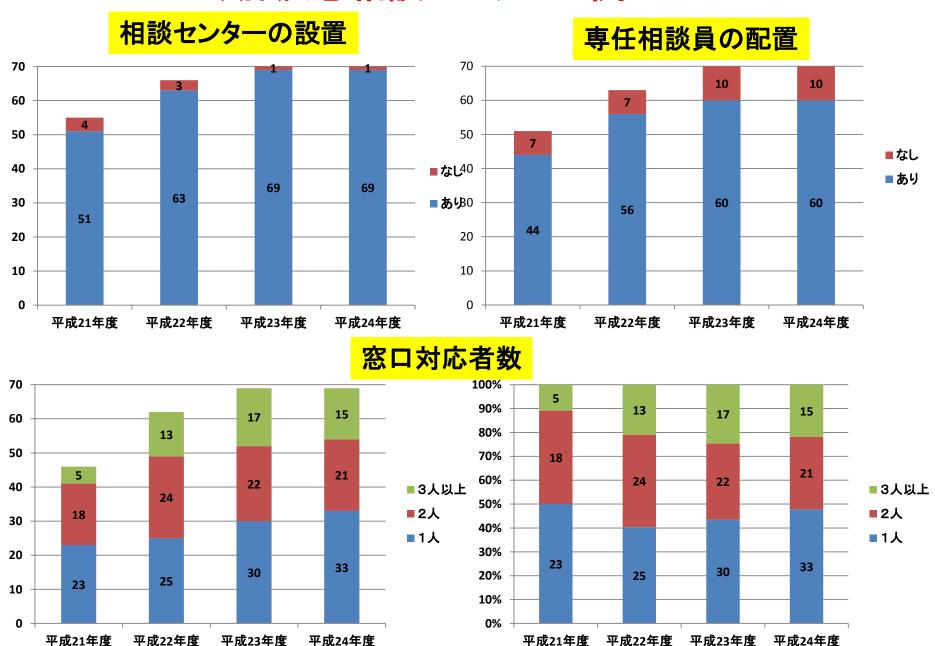
・平成23年度(平成24年12月に調査)

:70病院から回答

・平成24年度(平成25年12月に調査)

:70病院から回答

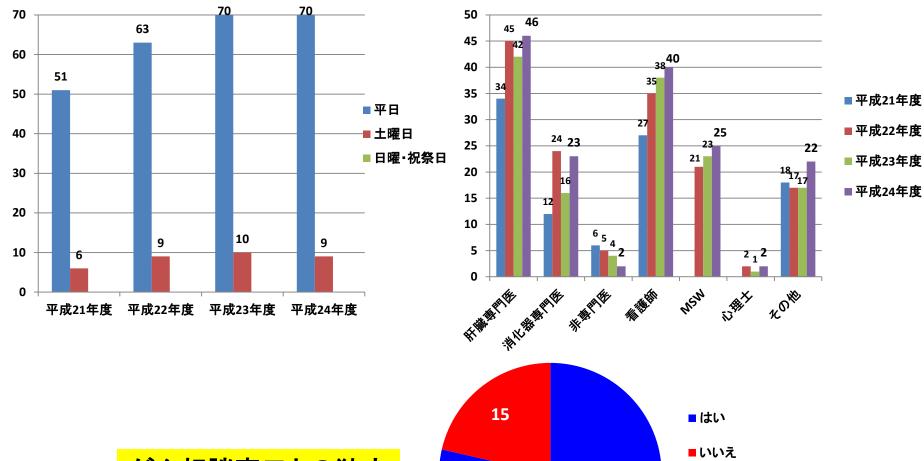
1) 肝疾患相談センターに関して



1) 肝疾患相談センターに関して

相談体制

主に相談を受ける人

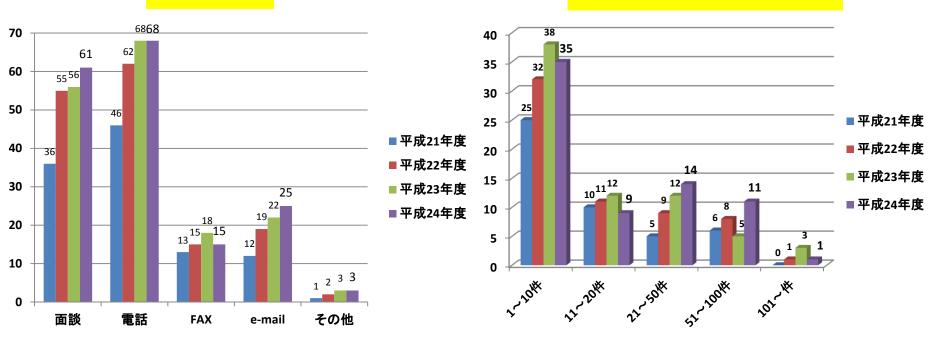


55 (79%)

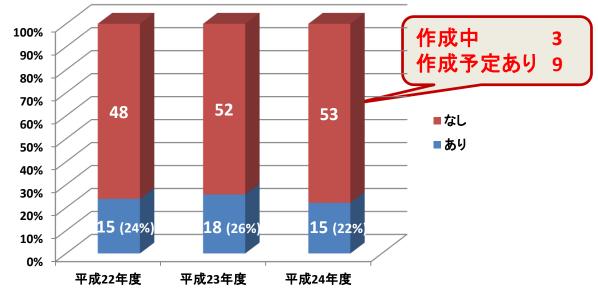
がん相談窓口との独立

相談方式

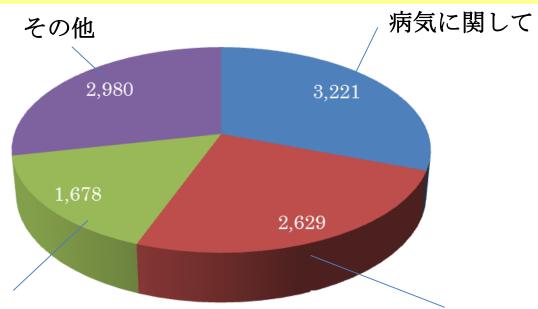
相談件数(件/月平均)



相談員用のQ&Aの作成



拠点病院肝疾患相談センターへの相談件数(平成21年度) 合計10,508件

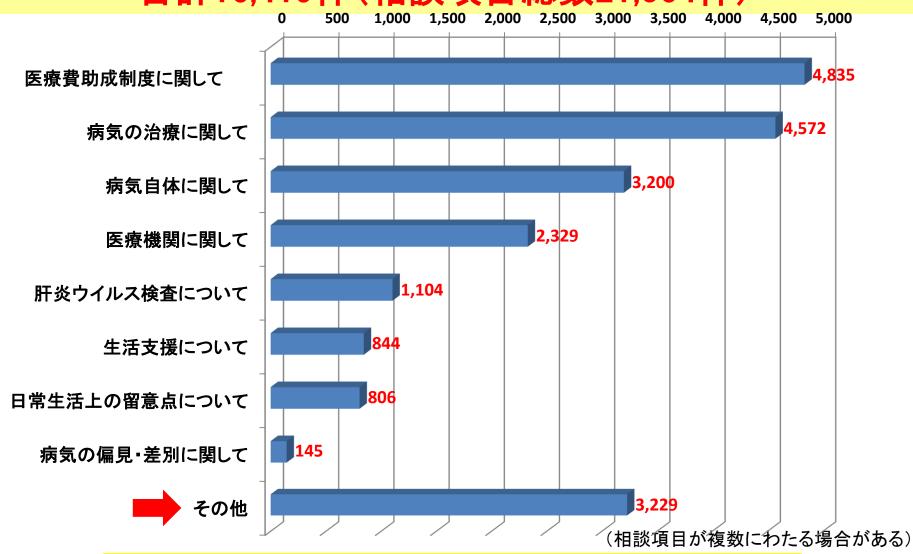


医療機関に関して

医療費助成制度に関して

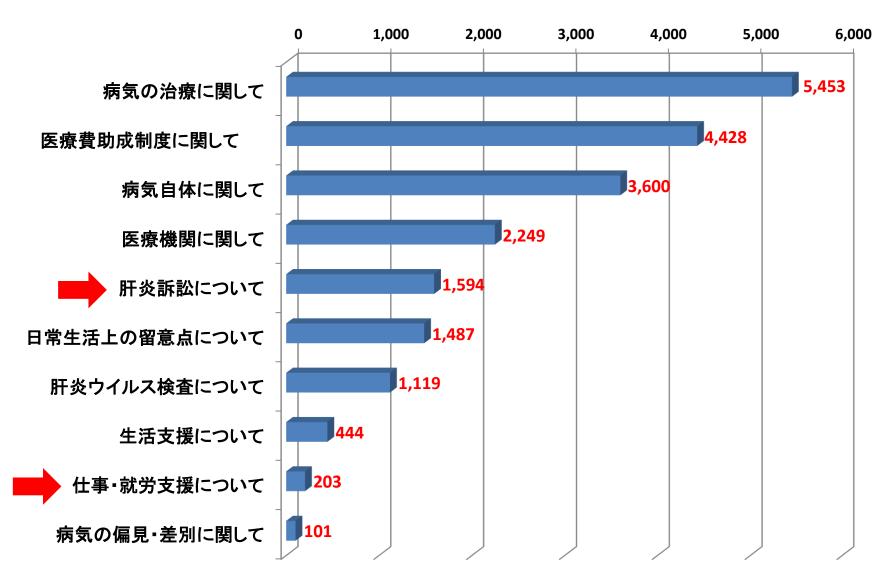
その他:薬害についての質問;漠然とした不安に関すること;肝硬変の治療中だが、患者会について知りたいと相談があり、紹介した;患者会の情報;C型肝炎の方に対する家族の対応;緩和ケアについて;フィブリノゲン製剤について;市民公開講座・研修についての問い合わせ;新薬について知りたい;友の会があるか一費用について知りたい;入院、転院、薬事、栄養、心理相談等;職業・進路、情緒・心理等について;助成以外の医療費支払い方法について、受診・入院方法、在宅療養、医療者との関係、社会生活、食事、セカンドオピニオン、介護、患者会、ホスピス・緩和ケア、家族問題、検診、告知、補完代替療法、職場の人間関係、偏見など;アルコール中毒、NASH;肝炎ウイルス検査について;IL28遺伝子型の測定について;セカンドオピニオン受診案内;輸血・血液製剤投与の有無;生活支援サービス(配食)について;アルコール性肝炎患者の訴えの傾聴;行政機関との連絡調整;医療機関より地域連携パス等の相談があった;現在かかっている病院での治療法が正しいのかどうか?肝臓癌に対する治療費助成はないのか?仕事と治療が両立できるだろうか?感染経路に関する不安について;食事栄養について;献血条件について;身体障害者;感染予防について;B型肝炎訴訟について;医療費の相談、社会福祉制度の相談、医療相談、患者等の情報提供;交際中の相手がC型肝炎であるため、日常生活上での気をつけるべきことはなにか;自分がB型肝炎のキャリアであるが、子供への感染の有無についての問い合わせ;B型肝炎・C型肝炎の検査を受けたいが、検査機関の紹介の要望

拠点病院肝疾患相談センターへの相談件数(平成22年度)合計16,419件(相談項目総数21,064件)



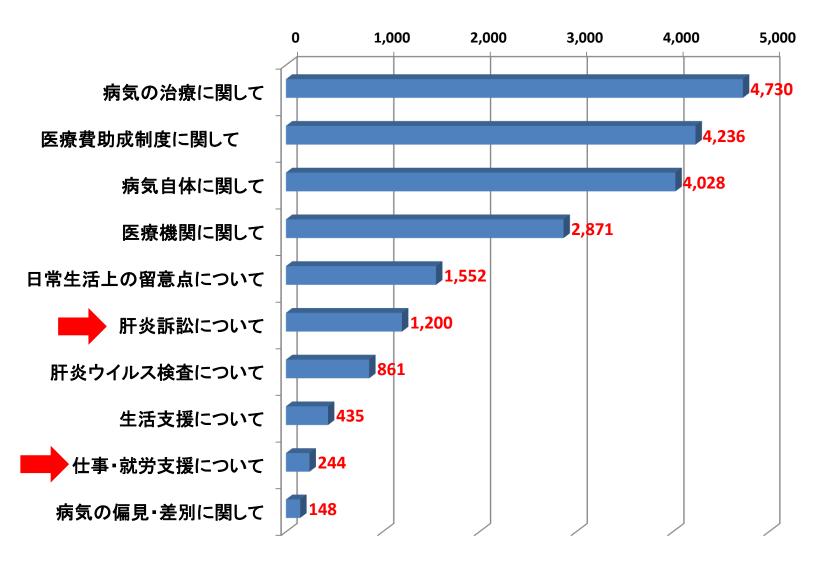
「C型、B型肝炎訴訟に関する問い合わせ」が急増

拠点病院肝疾患相談センターへの相談件数(平成23年度)合計17,501件(相談項目総数20,678件)



(相談項目が複数にわたる場合がある)

拠点病院肝疾患相談センターへの相談件数(平成24年度)合計19,608件(相談項目総数20,305件)



(相談項目が複数にわたる場合がある)

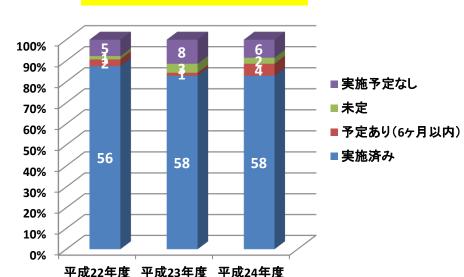
2) 研修に関して(平成22, 23, 24年度分)

■その他

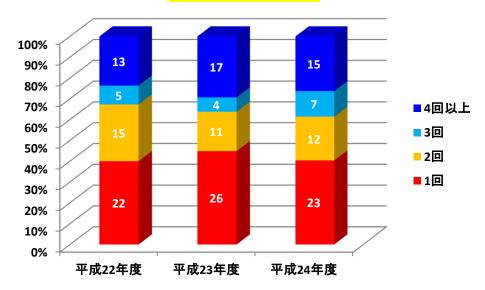
■看護師

■医師

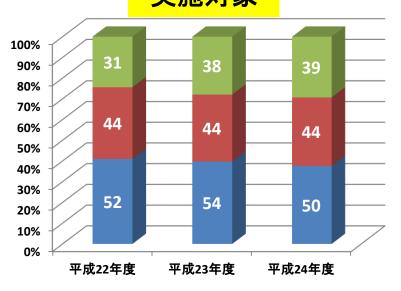




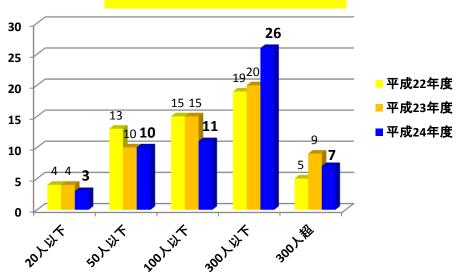
実施回数



実施対象

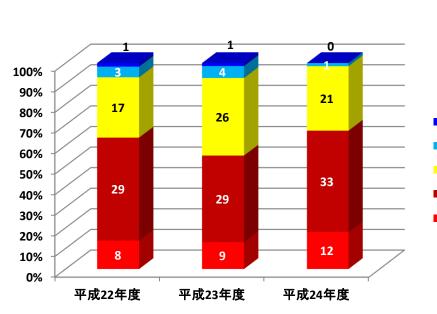


総数(のべ参加人数)

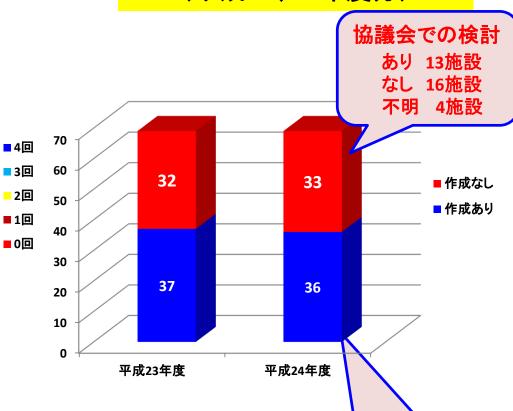


3)地域診療連携に関して(平成22, 23, 24年度分)





地域独自の連携パスの作成 (平成23、24年度分)



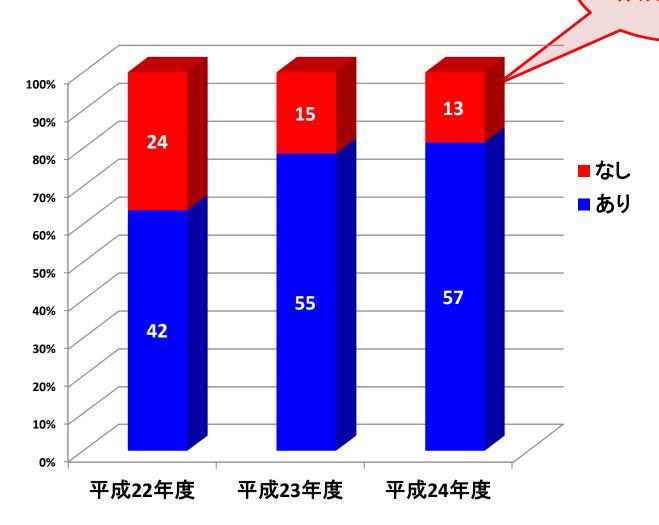
連携パスの厚労省への提供:

可27施設;否7施設

4)情報提供等に関して

独自の肝疾患情報提供ページの有無

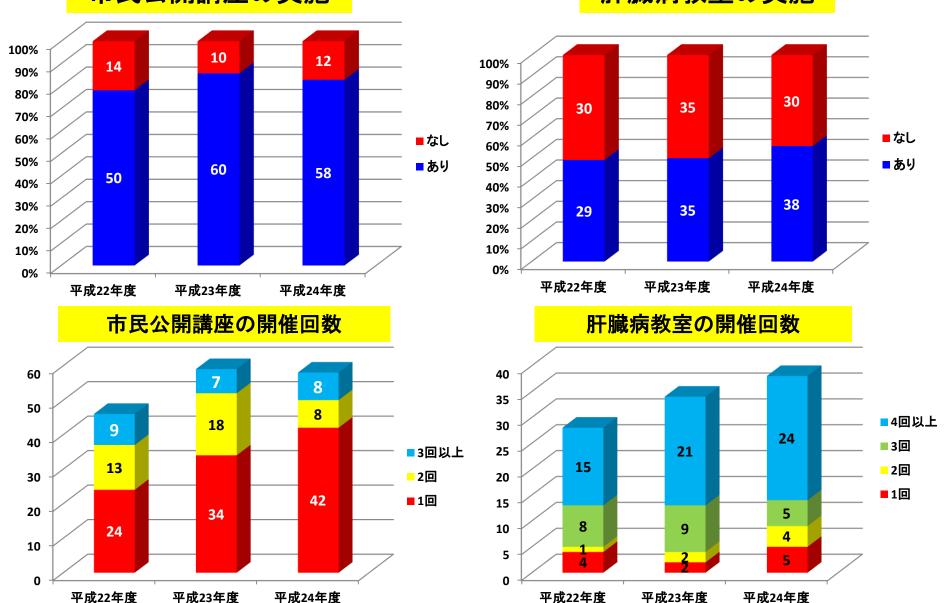
うち2施設に 作成予定あり



4)情報提供等に関して

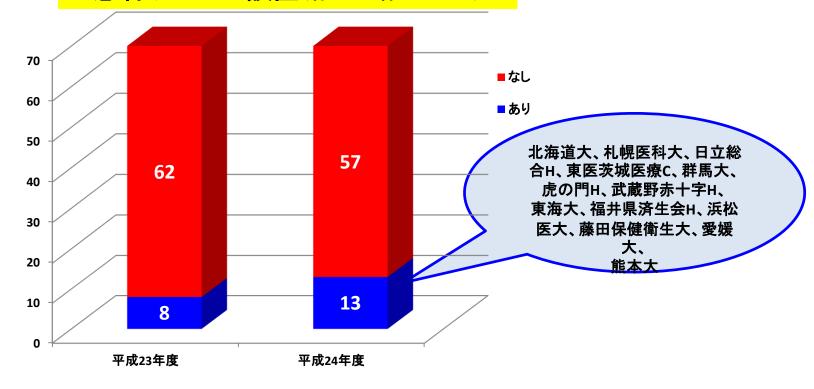


肝臓病教室の実施



4)情報提供等に関して(平成23,24年度)

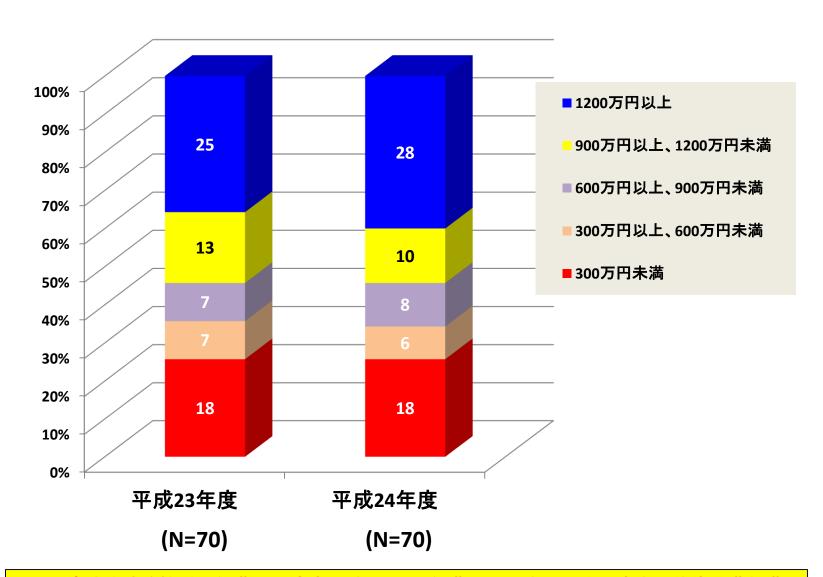
患者サロンの設置(徐々に増えている)



肝炎患者専用図書館の設置

弘前大 京都大 大阪医科大 (3施設)

拠点病院事業費(平成23,24年度)



(拠点病院等連絡協議会経費+肝疾患相談センター経費+肝炎専門医療従事者研修事業費経費)